

教育関係共同利用航海 公募要項

1. 令和8年度に実施する教育関係共同利用航海のうち共同利用単独航海

- (1) 申込資格・・・附属練習船を利用し、単位認定を伴う実習の実施を目的とした国立大学法人又は公立・私立大学等に所属している機関。
- (2) 申込様式・・・附属練習船勢水丸教育関係共同利用申請書【共同利用単独航海】（別紙様式1）
※必要事項を記入後、次ページ「申込先」事務室へ郵送ください。
- (3) 申込期限・・・令和7年10月27日（月）

2. 令和7年度に実施する教育関係共同利用航海のうち公開実習航海（混乗）

No.	日 程 (主な指導教員)	実 習 名 等	概 要	特別聴講学生 応募期限
1	R7.4.22～25 (宮崎准教授)	水産生物学実習 (水産生物学実習航海)	船上で海洋生物を採集し、諸形質の計測や解剖、試薬への固定・保存を行い、生物試料を組織、生理、遺伝子実験に供するための処理や保存方法を修得します。また、CTDによる水深、塩分、水温などの海洋環境観測を実施し、海洋生物の生息環境との関係を理解できるようになります。	R7.3.14
2	R7.5.22～5.26 (石川教授)	海洋環境調査実習 (海洋観測実習航海)	実際の洋上での現場観測を通して科学的に海を解析することにより、海洋の基礎的な知識や客観的理解が得られ、海洋内で起きている諸現象を正しく認識できるようになる。 海洋の構造を現場観測を通して理解すること、海洋の仕組みに関する知識を深めること、船舶で用いた海洋の観測手法を身につけることを目的とする。	R7.4.18
3	R7.6.2～6.6 (立花教授)	陸海空・環境科学実習 (大気海洋相互作用調査実習航海)	伊勢湾内や熊野灘海域や黒潮上において、ラジオゾンデを使用した高層気象観測やCTDを使用した海洋観測を行います。季節によっては、津の局地風『鈴鹿おろし』を捉えるためのラジオゾンデ観測も行います。取得したデータから、大気と海洋がどのように影響しあっているのか、黒潮内外での大気構造の違いがどのようにになっているのか、鈴鹿おろしが吹いているときの大気構造がどのようにになっているのかを学びます。	R7.4.18
4	R7.6.9～13 (万田准教授)	陸海空・環境科学実習 (大気海洋相互作用調査実習航海)		R7.4.18
5	R7.9.1～12 (練習船教員)	海洋総合航海実習 (底生生物調査実習航海)	洋上での試験操業、海洋観測作業、採集された生物からのデータ収集、データに基づく解析など実施し、海洋生物資源の調査手法を実践的に身につけます。試験操業はLCネットを用いて東シナ海で実施する予定です。なお本実習は11泊12日の航海により実施します、悪天候等の理由により日程が短縮する場合や、陸上実習を課す場合もあります。	R7.6.23
6	R7.10.7～10.10 (金岩准教授)	海洋生物資源調査実習 (海洋生物資源調査実習航海)	洋上での海洋生物資源調査の方法を身につけるとともに、採集物からのデータ収集及びデータに基づく解析の方法を学ぶ。また、海洋生物資源のすむ海洋環境の構造を明らかにする方法を身につける。	R7.8.25
7	R7.10.21～22 洋上1日 陸上1日 (支援室教員)	紀伊黒潮流域圏航海実習Ⅰ (海洋食文化実習航海 ～伊勢湾～)	近年、日本の魚食文化が世界で注目される一方で、日本では魚離れが起きているといわれます。このような中で、魚食文化の正しい理解を次世代の担い手である学生に伝えていくことは、水産学に携わる者の重要な使命であると我々は考えます。	R7.9.22
8	R7.10.23～24 洋上1日 陸上1日 (支援室教員)	紀伊黒潮流域圏航海実習Ⅱ (海洋食文化実習航海 ～尾鷲～)	練習船では、教育関係共同利用拠点の認定に伴い、古来より日本人の食生活を豊かにしてきた地域の食文化に関する実習を取り入れた海洋・食文化実習航海を提供します。そして、私たちが海洋から受けている恩恵（生態系サービス）を実感・体験します。	R7.9.22

※複数の日程が掲載してある実習につきましては、ご希望の日程を明記しご応募ください。

- (1) 募集対象 国立大学法人又は公立・私立大学等に所属している機関の学生。
- (2) 受講の基準 本学部教授会が、当該授業科目を履修するに十分な学力があると認めた学生。
No. 1～6 については、四年制大学 3 年生以上、No. 7・8 については、四年制大学・短大 2 年生以上である必要があります。

- (3) 申込書類等（提出方法：郵送またはメール便等配送記録があるものに限る）

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. 特別聴講学生入学願 | (別紙様式 2) |
| 2. 履歴書（要写真添付） | (別紙様式 3) |
| 3. 所属大学学部長または学科長の承諾書 | (別紙様式 4) |

【乗船(受講)決定後に必要となる書類】*上記 1-3 と同時提出可

4. 学生教育研究災害傷害保険(若しくは、それに準ずる保険に加入している事)・同付帯賠償責任保険(若しくは、それに準ずる保険に加入している事)への加入を証する書類の写し

3. その他

- (1) 乗船(受講)者の決定
所属大学の担当者にお知らせいたしますが、定員等の都合上、ご希望に添えない場合がございますので、予めご了承ください。
- (2) 乗船に係る主な費用（予定額）
1. 食事代（朝食 300 円/1 食・昼食 400 円/1 食・夕食 400 円/1 食）
 2. クリーニング代 650 円/1 航海
- (3) 乗船港までの交通費・下船港からの交通費は自己負担。
- (4) 公開実習航海（混乗）No. 7、No. 8 紀伊黒潮流域圏航海実習（海洋食文化実習航海）に係る費用
両コースとも 3,500 円程度の費用がかかります。参考に過去の実績より算出した予定額は以下の通りです。
1. 伊勢湾コースに係る実習費用（予定額）
船上朝食（1 食）300 円・船上昼食（1 食）400 円・船上夕食（1 食）400 円・クリーニング代 650 円
2 日目昼食 1,870 円
合計：3,620 円
 2. 尾鷲コースに係る実習費用（予定額）
船上朝食（1 食）300 円・船上昼食（1 食）400 円・船上夕食（1 食）400 円・クリーニング代 650 円
2 日目昼食 1,800 円
合計：3,550 円

■申込先・問合せ先■

〒514-2221 三重県津市高野尾町 2072-2

国立大学法人三重大学 大学院生物資源学研究所

附属教育研究施設事務室（練習船担当）

Tel : 059-230-1143 Fax : 059-230-1463 Mail : ship2012@bio.mie-u.ac.jp